



桑山 真麻弓 展

本館6階 美術画廊【絵画】

Seeds of Light - 光、はじける。-

現代アート作家であり、空間デザイナーでもある桑山真麻弓氏。本展では「Feel the Earth-私たちは自然の一部」というテーマのもと、麻などの繊維を用いて空間そのものを変容させる「Organic Atmosphere Art(有機的空中芸術)」の世界を展開。

4.29 WED~5.4 MON



「Radiant Release」
F15号

大豆生田 綾子 展

本館6階 美術工芸サロン【ガラス】

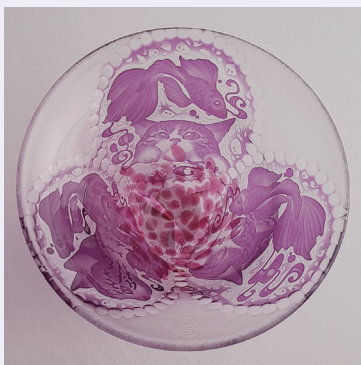
～気になるいきもの～

1975年栃木県出身、1996年女子美術短期大学卒業。日本橋高島屋では、2013年「切子三様展」、2019年アートアベニュー、2023年工芸サロンにおける初個展を経て今展を迎える。

繊細な切子とサンドブラスト技法を併用し、動植物を伸びやかなデザインで表現する人気作家。

今展では猫を中心に、幼少期に身近な存在であった動植物をモチーフとした新作を発表。

4.29 WED~5.4 MON



「猫爛漫」
H10×Φ19cm

吉水 快聞 展

本館6階 美術画廊【彫刻】

-白幻-

現代日本の彫刻界屈指の人気木彫家、吉水快聞氏の4回目となる個展を開催。

吉水氏の水際立った彫りの冴えや濃厚な深みへ誘う漆と截金を駆使した練達のわざ、それに加えて高雅な彩色が生み出す精妙さが作品の見どころ。

今回は従来の作風に一段と典麗な想像性が加わり、馥郁たる香りに似た愉悦感が満ちた作品を展開。

5.6 WED~5.11 MON



「白鯨」
約H15.7×W33.3×D33.3cm
木彫(繪)・顔料・膠・金箔・
漆・貝(螺鈿)など

大沼 蘭 展

本館6階 美術画廊【洋画】

-Reflection of Nature-

人間と自然の関係性をコンセプトに、人間の持つ力強さや、動植物の「生」を独自の視点で展開する大沼氏。本展では、日々目にする景色やニュース、童話や映画、一緒に暮らす生き物たちの小さな気配を、コラージュのように画面に構成し、更に作品の物語を展開。

4.29 WED~5.4 MON



「もりをすすんでII」
F20号

Unbridled Garden 箕輪 茉海 展

本館6階 美術画廊X【木工】

千葉県生まれ、2020年東京藝術大学大学院博士後期課程工芸専攻(木工芸)修了。

箕輪氏が用いる技法「木象嵌」は木で絵を描くような技法で、絵を筆で描くのと異なり、糸鋸で切り抜かれた沢山のピースをパズルのように組み立てる。木の色は多彩で、同じ木でも木目を交差させるだけで、模様を作ることも可能。これまで平面作品として扱われることが多かった木象嵌を、立体表現と組み合わせる試みにも挑戦する箕輪氏が新たな木象嵌の可能性に挑んだ作品も展覧。

4.22 WED~5.11 MON



「Gyre Of The Soul」
H123×W123×D8cm

平岩 共代 展

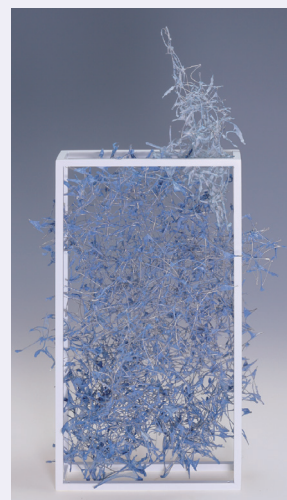
本館6階 美術画廊【金工】

見えてきたものII 存在の痕跡

東京藝術大学美術学部美術教育研究科を修了後、金属を素材として用い、鍛金の技術を基本としたメタルアートを展開。2006年文化庁の芸術家海外留学特別派遣研修員に選ばれ、ニューヨークのアート&デザイン美術館(MAD)に在籍。作品はフィラデルフィア美術館をはじめ、ドイツ、ニューヨークの美術館などで收藏されており、グローバルに活躍。今展では、金属に和紙といった異素材を組み合わせたオブジェや、アートジュエリーを一堂に展覧。

5.6 WED~5.11 MON

「所詮人間枠の中
(Confined to Human Frames)」
H40×W25×D6cm
©Akihiro Kato



豊福 博 陶展

本館6階 美術工芸サロン [陶芸]

1973年東京都に生まれ、その後埼玉県春日部市へ。1996年国際基督教大学卒業。1998年岡山県立備前陶芸センター修了。備前焼作家 川端文男氏に師事。第9回陶美展タカシマヤ賞受賞の記念展に続き2回目の個展。備前の土の原土の風合いを活かす自然練込の技法で作られた備前焼の花器、酒器、食器など約100点を展示。



「自然練込花器」
H36×W31×D32cm

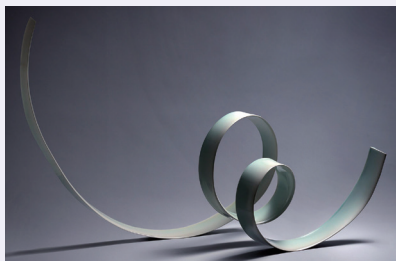
5.6 WED ~ 5.18 MON

木野 智史 展

本館6階 美術画廊X [陶芸]

—磁器ろくろのその先—

1987年京都府生まれ、2012年京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻陶磁器を修了。2017年パラミタ陶芸大賞展大賞、2020年には京都市芸術新人賞を受賞。轆轤成形した磁土に青白釉を施し、一瞬の動きを立体的に可視化した代表作「嵐」。今展では、この「嵐」をはじめ、近年取り組んでいる青白釉の塊や、轆轤成形時に生まれる泥漿を集積したオブジェなど、従来の自身の作品を多面的に捉えた新たなシリーズも加え、一堂に展観。



「嵐(廻)」
H62×W118×D60cm
白磁、青白磁釉

5.13 WED ~ 6.1 MON

松元 悠 展

本館6階 美術画廊 [版画]

1993年京都府生まれ。版画家、美術家。2018年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻版画修了。マス・メディアが報じる出来事(事件)の周縁に赴き、そこで得た情報から報じられる「当事者」の追体験を試み、自らの手で再構築した人物、事件の姿をリトグラフ技法を用いて表現。2021年に関西をベースに法廷画家としても働き始める。



「こどもと料理がしたい」
H70×W90cm
リトグラフ・BFK紙

5.20 WED ~ 5.25 MON

美の予感2026

本館6階 美術画廊 [彫刻]

—象・彫・刻・塑—

40歳以下の彫刻・立体表現の作家による「美の予感 —象・彫・刻・塑—」の3年ぶり2度目の展覧会。近年、国内のみならずアジア圏を中心に、日本の彫刻作品、立体造形作品は芸術性、技術の精巧さ等から評価が高まっている。日本で彫刻は古来、仏像制作や建築装飾等として発展し、明治の近代化以降は「彫刻」という美術作品としてモダンに洗練され、戦後は彫刻の概念が“素材・技法”を超えて拡大・多様化していき、今世紀に入ってからは、更に次のパラダイムを形成し始めているように感じられる。グローバルな課題に直面する世界の中で、それでも日常の些細な幸福を求めて止まないこの現代社会で、7人の作家たちが素材を信じ表現した新作を一堂に展観。

【出品作家】(五十音順・敬称略)石川 慎平・神楽岡 久美・久保木 要・黒田 恵枝・白谷 琢磨・塚本 将慈・吉田 泰一郎



黒田 恵枝「No.422もげもげもの」
H63×W30×D33cm
使われなくなった衣類、糸、綿、木材

5.13 WED ~ 5.18 MON

日本陶芸美術協会 選抜展

本館6階 美術画廊 [陶芸]

先人達がこれまでに培ってきた技法や表現を、敬意をもって受け継ぐとともに、再認識することで陶芸の新たな創作世界を切り拓いていくことを目指す日本陶芸美術協会。今展ではその表現の多様性を認め、幾多の可能性を見出して「今現在」に真摯に向き合う協会所属作家6名による作品を一堂に展観。

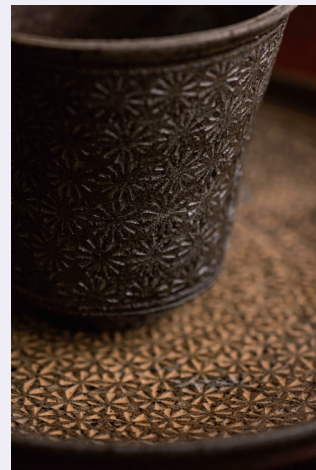
【出品作家】(五十音順・敬称略) 浅田 浩道・喜多 浩介・清水 一二・武田 敏彦・西本 直文・福野 道隆

5.20 WED ~ 5.25 MON

井銅 心平 陶展

本館6階 美術工芸サロン [陶芸]

1981年熊本県生まれ。2006年唐津・中里太亀氏に師事。2009年中里隆氏のアシスタントとしてアメリカに同行。2010年熊本県に萩見窯を設立。粉引や三島手など、九州に古くから伝わる技法を用い、「陶器と暮らす 食を愉しむ」をテーマに作品を制作。そのうつわは料理を美しく引き立て、多くの料理人から好まれ選ばれている。今展では壺や皿、酒器などの新作をバリエーション豊かに発表。



イメージ

5.20 WED ~ 5.25 MON

		5月																																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日				
本館6階	美術画廊	桑山 真麻弓 展				準備会場	吉水 快間 展				準備会場	美の予感2026 —象・彫・刻・塑—				準備会場	日本陶芸美術協会選抜展				準備会場	星野 聖展 ※6月1日(月)まで														
		大沼 蘭 展					平岩 共代 展										松元 悠 展					山本 太郎 展 ※6月1日(月)まで														
	美術画廊X	箕輪 菜海 展											準備会場	木野 智史 展 ※6月1日(月)まで																						
2本階	美術工芸サロン	大豆生田 綾子 展				準備会場	豊福 博 陶展				準備会場	井銅 心平 陶展				準備会場	武本 大志 展 ※6月1日(月)まで																			
	アートアベニュー	塚原 梢 展				準備会場	夏を楽しむうつわ展																													

誠に勝手ながら都合により催内容、会期など一部変更または中止となる場合がございます。営業日・営業時間、催内容、会期の最新の情報は高島屋ホームページをご覧ください。



高島屋各店美術画廊・展覧会のご案内はホームページでもご覧いただけます。

高島屋 美術

検索

